

# 動物愛護管理センターにおける 収容動物管理の取組について

## はじめに: 動物愛護管理センターの動物収容業務について

### 動物の収容

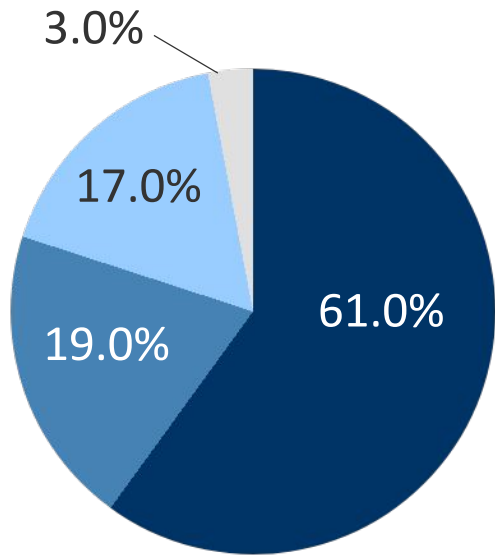
- 放浪犬の捕獲
- 迷子・負傷動物の保護と返還
- やむを得ない事情で飼いきれなくなった犬猫の引取
- 災害時における被災者からのペットの一時預かりや引取等

### 重点課題

収容頭数の多くを占めるのが、  
**やむを得ない事情で飼いきれなくなった犬猫の引取(放棄)**

## 放棄相談の要因分析(件数ベース)

令和元～7年度 放棄相談：約1,700件の内訳



- 社会福祉的要因：約60%**  
(飼い主の急な入院・死亡、高齢、病気など)
- 行動的要因：約20%**  
(ペットの問題行動、高齢による介護負担など)
- 環境要因：約17%**  
(飼い主の転居、ペット不可物件での飼育など)
- 経済的要因：約3%**  
(飼い主の経済的困窮など)

3

## 「動物の問題」<<<「人と地域の問題」

表面的な理由は「動物の飼育が困難」。



背景には「**飼い主の社会福祉的な脆弱性**」  
が潜んでいる。

<例>

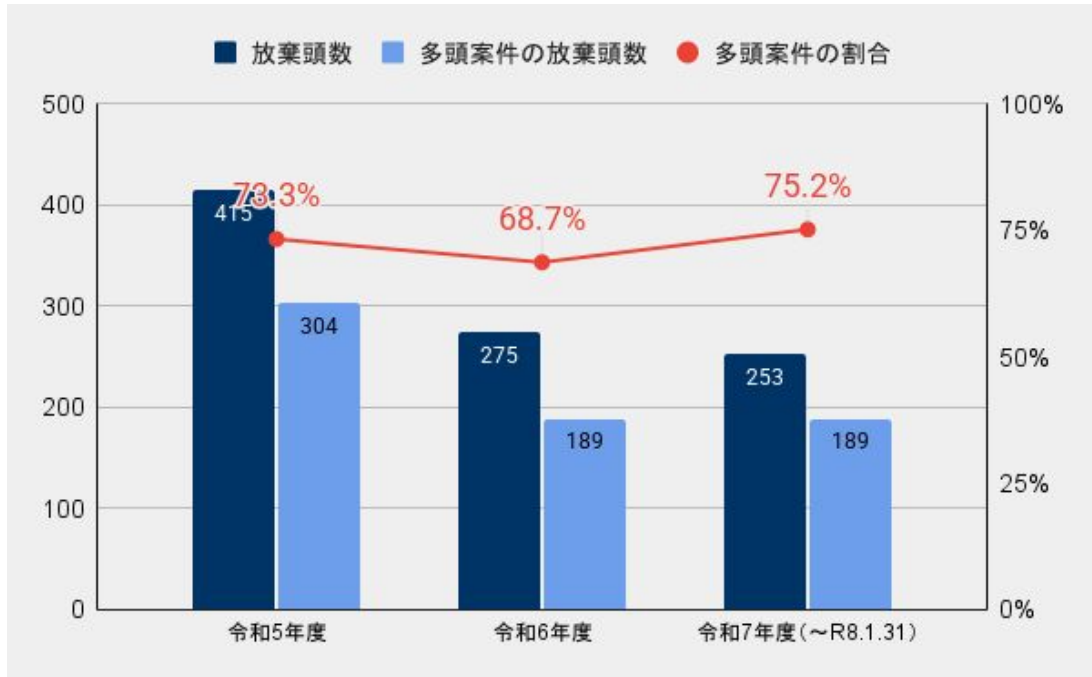
- 高齢で自身の生活もままならない。要介護の犬の面倒を見る体力もお金もない。
- 急な入院が決まった。頼れる親族や知人はおらず、入院中に猫の世話をしてくれる人が見つからない。
- 精神疾患が理由で無職になった。節約のため、より賃料の安いペット不可物件へ転居しなければならない。

など



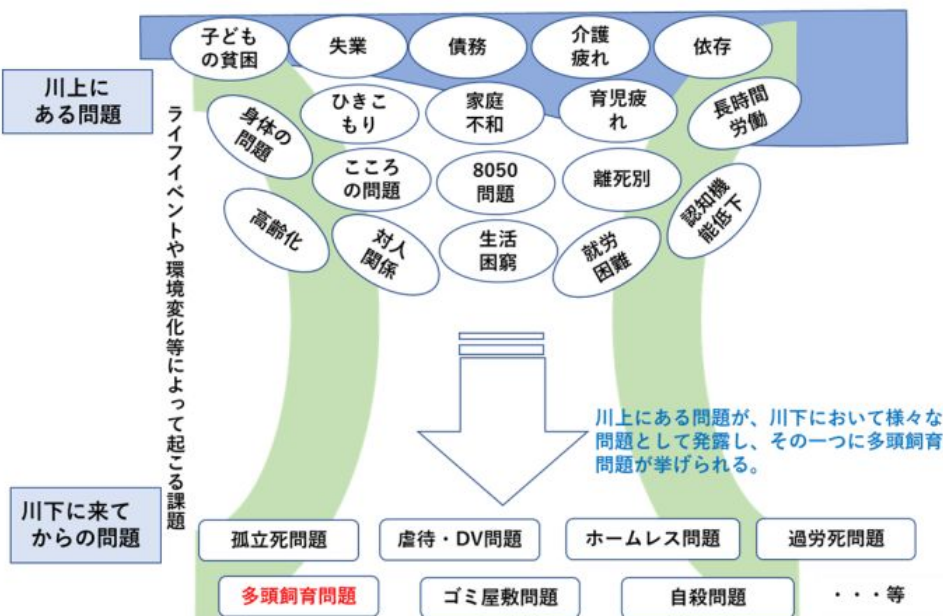
4

## 放棄相談の要因分析(頭数ベース:猫)



收容頭数の約**7割**が多頭飼育崩壊案件によるもの

## 多頭飼育崩壊と社会福祉的問題との関係性



「多頭飼育崩壊」の背景には、経済的困窮や精神疾患などの「社会福祉的問題」が密接に関わっている。

### 社会福祉と動物愛護管理の多機関連携

社会福祉部門（飼い主の生活再建）  
+  
動物愛護管理部門（動物の福祉の担保）

図 6 多頭飼育問題が生じる社会的背景

(出典:佐藤尚治(社会福祉法人 長野県社会福祉協議会). 社会的孤立の背景と要因～社会福祉の立場からみた多頭飼養者の特徴について～ を一部改変)

## 社会福祉部門との連携の重要性

### 🔍 福祉こそが「早期発見」の入り口

- センターが探知する頃には、問題は既に重大化・深刻化している。
- 初期段階での相談・通報が、多頭飼育崩壊の未然防止・被害の最小化の鍵になる。

### 🏠 根本原因の解決が第一

- 飼い主の社会福祉的問題を解決しない限り、状況の改善・再発防止は見込めない（ただし、動物愛護行政の専門外）。

社会福祉部門との**連携をさらに強化**していく必要性

7

## 多頭飼育崩壊案件によって生じる課題

- ⚠️ **収容環境の即時ひっ迫**： **短期間に多数の犬猫が収容**され、収容スペースが不足。
- 👉 **管理コストの増大**： 日常的な世話、体調不良個体の治療、避妊去勢手術の実施など。
- 📁 **他業務の圧迫**： 上記管理コストの増による他業務への圧迫。
- 🕒 **滞留リスク**： 収容の長期化による、新たな個体の保護・受け入れの困難化。

8

## 収容環境のひっ迫に対するこれまでの取組



### ① 譲渡機会の拡大

出口戦略を強化。  
収容動物の滞留を防ぐ。



### ② 健康管理の推進

避妊去勢手術や獣医療処置に  
より、譲渡適性を高める。



### ③ 情報発信の強化

センターの譲渡活動に関する  
認知度やイメージの向上を  
図る。

## 取組詳細①: 譲渡機会の拡大



### 休日開庁の通年開催（18回）：

従来、冬季は実施していなかった休日開庁  
を、令和6年度から通年開催へ。

※原則、第二・第四土曜日の開催。

### 愛護団体との合同譲渡会の開催（8回）：

団体のネットワークを活用することで、より  
多くの市民に譲渡機会を提供。

### 教育普及事業との同時開催（4回）：

適正飼養の普及を行うと同時に、潜在層への  
センターの魅力アピールの場に。

## 取組詳細②: 健康管理の推進



【預託前】

【預託後】

北海道大学獣医学部との連携事業：

避妊去勢手術：避妊21匹・去勢5匹

死亡個体の病理解剖検査：18検体

札幌市小動物獣医師会への往診業務委託：

避妊去勢手術：避妊16匹・去勢15匹

その他外科処置：5件（乳腺腫瘍の摘出など）

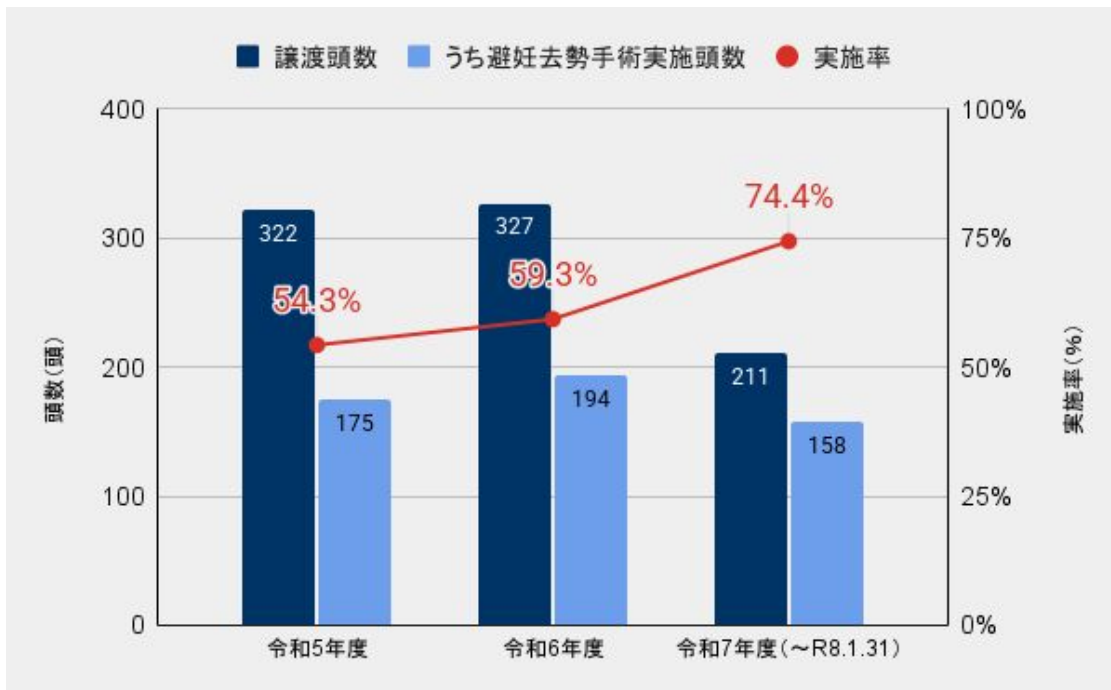
診察・治療方針への助言：22件

保護ボランティアへの一時預託：

健康状態の維持や動物福祉の改善を目的に実施。

実績：1施設・5匹（うち2匹は二次譲渡も）

## 取組詳細②: 健康管理の推進 - 避妊去勢手術の実施割合(猫)



避妊去勢手術の実施率は**上昇傾向**にある

## 取組詳細③: 情報発信の強化

← ポスト

札幌市動物愛護管理センター（あいまる さっぽろ）  
@sapporo\_dobutsu

【スタッフの推し猫紹介by職員5】  
AC071222-02（愛称：ナガン）  
いつ、どこにいてもすぐに居場所が分かる猫、それがナガンです。  
味のある特徴的なお顔も魅力的ですね！🐾  
#札幌市 #保護猫 #飼い主募集



### 推し犬・推し猫投稿

職員や飼育スタッフが、各個体の性格や魅力などについてアピール



### センター内掲示の強化

にゃんこカレー・あいまる猫マップなど、譲渡のときの指標がひと目でわかるように掲示を工夫



### 譲渡に関するパンフレットの発行

保護猫を飼育する際に必要な情報をひとまとめにしたパンフレットの発行

## 今後の課題と方向性: 長期収容個体の出口の確保

### ⚠️ 譲渡適正が低い個体の収容長期化

- 攻撃性の高い個体
- 問題行動（咬み癖・無駄吠えなど）のある個体
- 猫エイズ・猫白血病ウイルス陽性個体
- 持病のある高齢個体

など。

### 🔍 今後、検討が必要な事項

- 殺処分の適応基準に関する見直し
- 一時預託先・看取り先となる保護ボランティアの増
- プロトレーナーによる定期的なトレーニング・馴化の導入

など。

## 次期計画の改定に向けて

令和8～9年度

→札幌市動物愛護管理推進計画の改定期間！

札幌市の動物愛護管理行政について、将来の方向性を検討していきます。

委員の皆様には、忌憚のないご意見とご協力をお願い申し上げます。

